

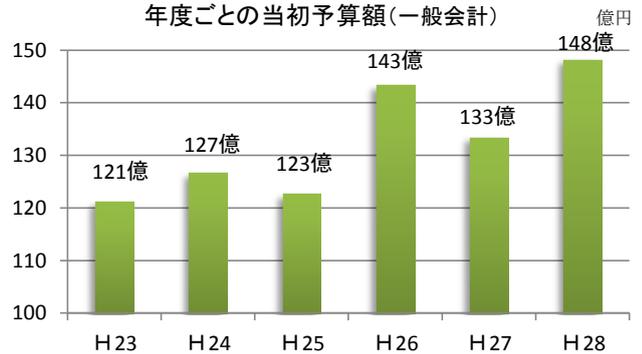
平成28年度 当初予算

一般会計予算規模
148億2,000万円

平成28年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ148億2,000万円で、前年度と比較して14億8千万円、11.1%の増となりました。

これは、前年度が骨格予算であったことのほか、国営九頭竜川下流土地改良事業負担金、庁舎耐震補強・改修工事、小中学校コンピュータ整備、農業者トレーニングセンター改修工事などの大型事業が予定されているため、当初予算の規模としては合併後最大となりました。

年度ごとの当初予算額(一般会計)



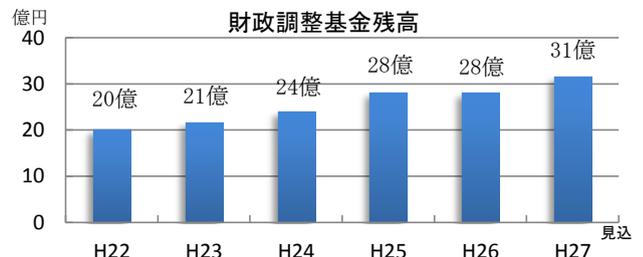
※各表の数値及び構成比は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

各会計の当初予算規模

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年比	
	当初予算額 A	当初予算額 B	増減額 C=A-B	増減率 (C)/(B)×100
一般会計 (市の基本的な行政サービスの経費を支ずる会計)	148億 2,000万円	133億 4,000万円	14億 8,000万円	11.1%
特別会計 (保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。)				
国民健康保険特別会計	34億 870万円	33億 7,520万円	3,350万円	1.0%
後期高齢者医療特別会計	2億 9,740万円	2億 9,650万円	90万円	0.3%
農業者労働災害共済特別会計	500万円	500万円	-	-
産業団地整備事業特別会計		380万円	△380万円	△100.0%
小 計	37億 1,110万円	36億 8,050万円	3,060万円	0.8%
企業会計 (一般の会社と同じように、独立の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)				
水道事業会計	10億 4,722万円	10億 6,902万円	△2,180万円	△2.0%
工業用水道事業会計	1,275万円	1,130万円	145万円	12.8%
公共下水道事業会計	25億 1,240万円	25億 2,364万円	△1,124万円	△0.4%
農業集落排水事業会計	1億 525万円	1億 763万円	△238万円	△2.2%
小 計	36億 7,762万円	37億 1,159万円	△3,397万円	△0.9%
芦原温泉上水道財産区水道事業会計 (旧芦原町内の特定区域(財産区)の水道事業にかかる会計)	2億 2,363万円	2億 1,274万円	1,089万円	5.1%
合 計	224億 3,235万円	209億 4,483万円	14億 8,752万円	7.1%

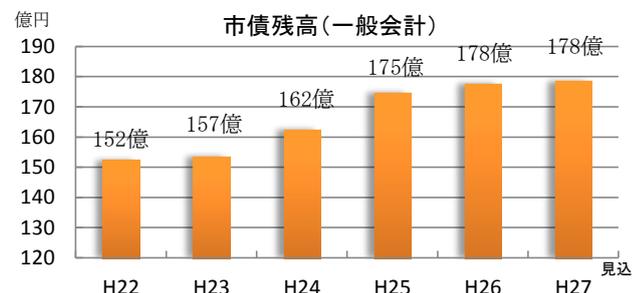
財政調整基金(市の貯金)

市の貯金である財政調整基金については、合併当初(平成15年度末)は5億4,507万円でしたが、平成26年度から合併による優遇措置が縮小され地方交付税が減額されることを踏まえて、これまで積極的な積立を行ってきました。平成27年度末では、31億4,400万円となる見込みです。

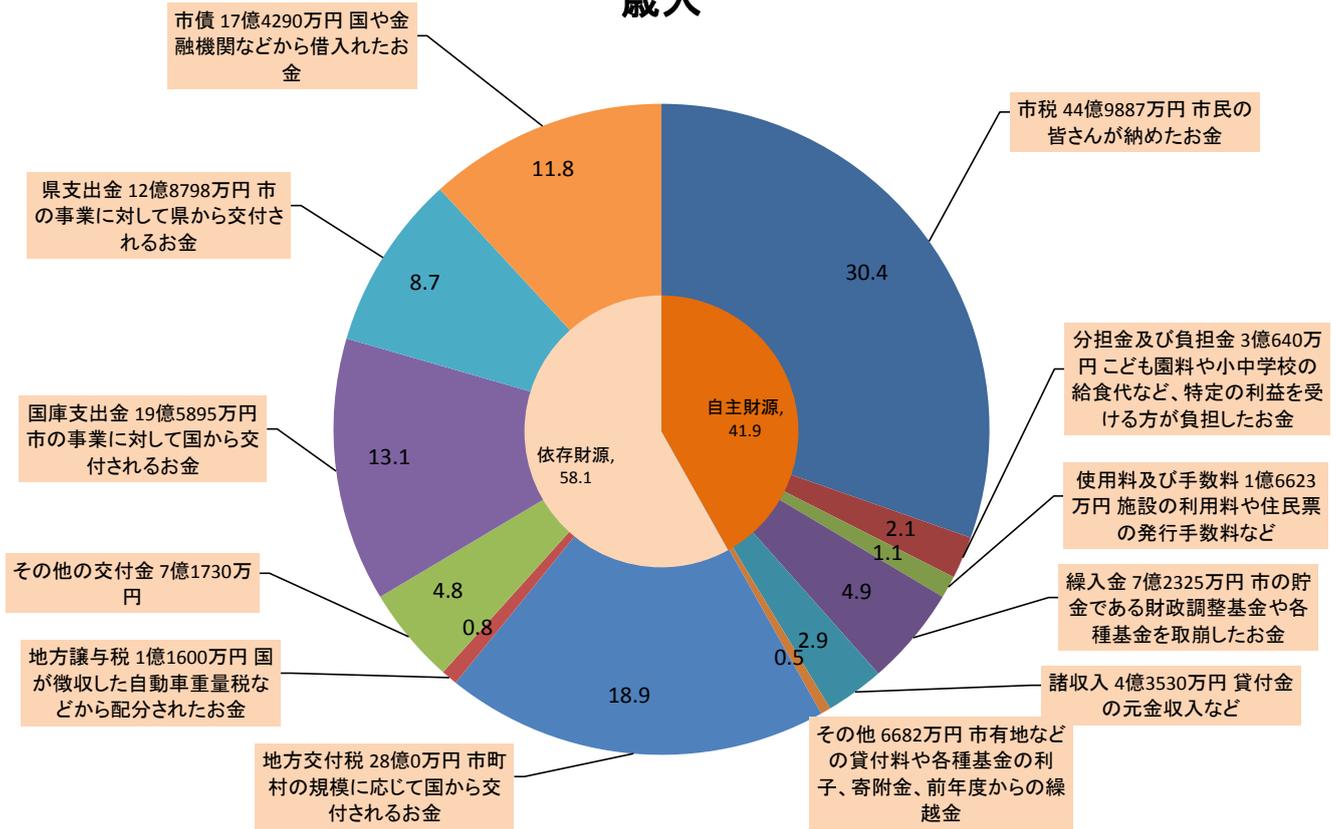


市債残高(市の借金)

市の借金である市債については、平成26年度と比較して約9千万円ほどの増加となります。これは、平成27年度で実施した芦原温泉駅周辺整備事業などの借入れによるものです。市債は、償還額の一部もしくは全部が地方交付税に算入される借入(合併特例債など)を積極的に活用しています。

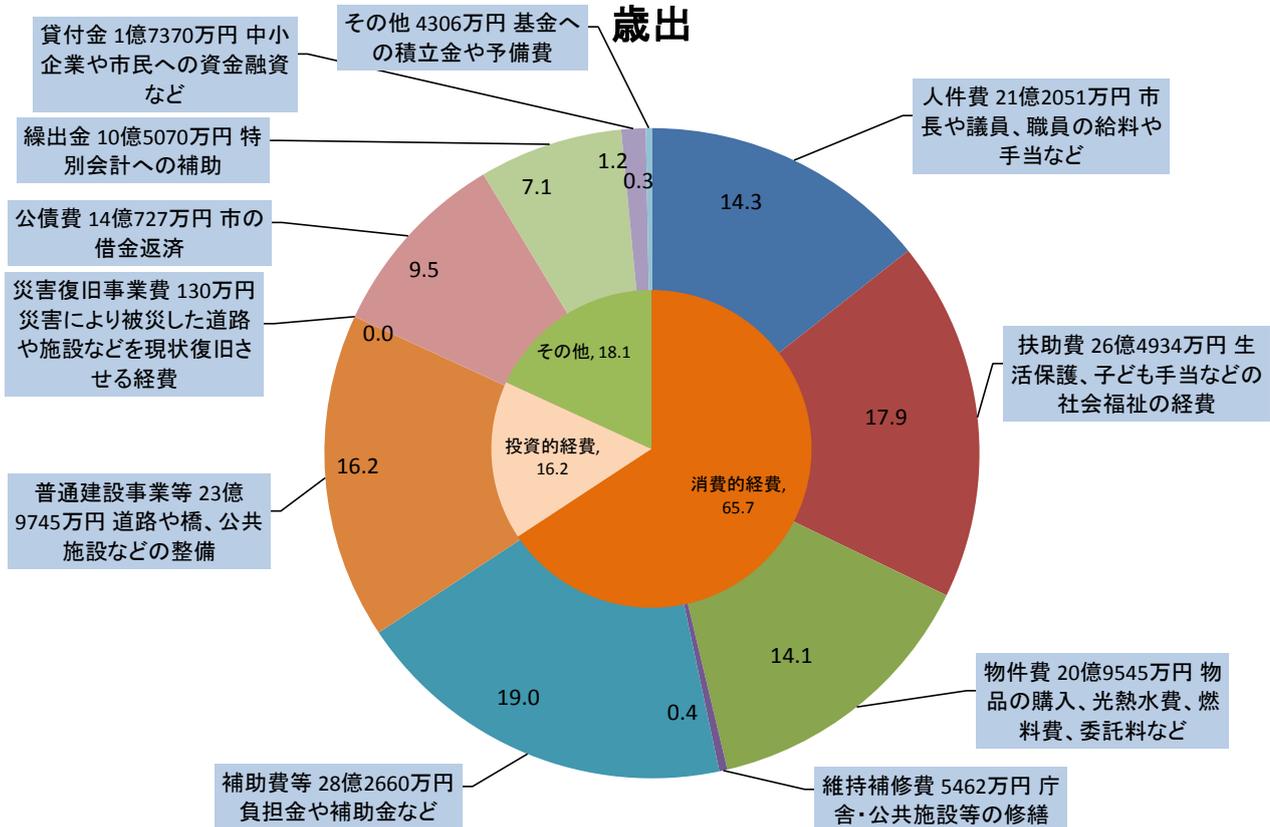


歳入



一般会計予算規模 148億2,000万円

歳出



歳出を目的別で分類した予算額と市民一人当たりの予算額

目的名称	説明	主な事業	予算額	市民一人当たり
民生費	児童、高齢者、心身障害者などの社会福祉施設の管理運営や生活保護などにかかる経費です。	認定こども園運営事業 雲雀ヶ丘寮経費 障害者自立支援給付事業 児童手当支給事業 介護保険事業	45億 3017万円	155,938 円
土木費	道路・河川・住宅・公園などの各種公共施設の整備や、これらの施設の維持管理にかかる経費です。	公営住宅長寿命化事業 道路一般改良舗装事業 地方道路交付金事業(千束・赤尾線) 芦原温泉駅周辺整備事業 除雪対策経費	19億 4198万円	66,847 円
教育費	学校や体育施設の建設・管理、生涯学習、文化財保護などにかかる経費です。	公民館施設管理経費 給食センター事業 創作の森事業 放課後子どもプラン推進事業 通学援助経費	18億 1667万円	62,534 円
総務費	庁舎などの管理、公共交通対策、市税の賦課徴収、戸籍住民基本台帳、防犯対策、選挙など市役所の一般的な仕事にかかる経費です。	電算業務・機器管理経費 公共交通対策経費 区長会経費 庁舎管理経費 デマンド交通運行事業	17億 4458万円	60,052 円
公債費	道路や施設を整備する際に、国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金です。	借入償還元金 借入償還利子	14億 727万円	48,441 円
農林水産業費	農林水産業の振興や農道・排水施設の整備などにかかる経費です。	多面的機能支払交付金事業 鳥獣害防止総合対策事業 環境保全型農業支援事業 土地改良等整備事業 企業的園芸確立支援事業	12億 6554万円	43,563 円
衛生費	環境対策、ごみ処理、妊婦・乳児健診、予防接種などにかかる経費です。	塵芥処理広域行政経費 ごみ処理事業 予防接種事業 保健事業 妊婦・乳児健康診査事業	7億 5248万円	25,902 円
商工費	商工業の振興、観光推進、企業誘致などにかかる経費です。	温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業 商工振興事業 観光推進事業 ふるさと創造プロジェクト事業 セントピアあわら経費	5億 3926万円	18,563 円
消防費	地震、火災、風水害の災害対策や消防施設にかかる経費です。	嶺北消防組合負担金 消防施設整備経費 防災経費 防災訓練事業 水防訓練事業	5億 2840万円	18,189 円
議会費	議員の報酬や議会の運営などにかかる経費です。	議員人件費 議会運営議員調査活動事業 議会事務局経費	1億 7484万円	6,018 円
労働費	雇用対策や市民への生活資金の融資などにかかる経費です。	市シルバー人材センター運営補助金 市民生活安定資金預託金 勤労者住宅資金利子補給金	7445万円	2,563 円
その他 ・災害復旧費 ・諸支出金 ・予備費	災害により被災した道路や施設などの復旧にかかる経費、各種基金(貯金)の積立金や緊急に支出を要する場合に備える予備費です。	道路橋りょう災害復旧事業 河川災害復旧事業 農地災害復旧(単独)事業 農業用施設災害復旧(単独)事業 林業施設災害復旧(単独)事業	4436万円	1,527 円
合計			148億2,000万円	510,137円

※平成28年3月1日現在の住民基本台帳人口(29,051人)で計算しています。

当初予算を家計簿に例えると

平成28年度の当初予算148億2,000万円をわかりやすく3,000分の1に置き換えて家計簿にしました。

1年間の収入	
基本給与 (市税)	149万 9,623円
諸手当 (分担金及び負担金)	10万 2,133円
副業収入 (使用料及び手数料)	5万 5,411円
預金の取り崩し (繰入金)	24万 1,084円
臨時収入など (寄附金、財産収入、諸収入、繰越金)	16万 7,374円
親などからの仕送りや援助 (交付税・国県補助金等)	229万 3,408円
銀行からの借り入れ (市債)	58万 967円
合計	494万円

自分で稼いだお金
(自主財源)
206万5,625円 (全体の41.8%)

他から調達してきたお金
(依存財源)
287万4,375円 (全体の58.2%)

1年間の支出	
食費 (人件費)	70万 6,838円
医療費 (扶助費)	88万 3,112円
光熱水費・消耗品費など (物件費)	69万 8,483円
子どもへの仕送りなど (補助費等)	94万 2,199円
家・車などの修繕費 (維持補修費)	1万 8,207円
家などの増改築 (普通建設事業費)	79万 9,150円
借金返済 (公債費)	46万 9,089円
貯金 (積立金)	1万 1,021円
その他緊急用 (貸付金・出資金・繰出金・予備費・災害復旧費)	41万 1,901円
合計	494万円

消費的経費
(支出の効果が単年度または短期間で終わり
後年度に形を残さない経費)
324万8,839円 (全体の65.8%)

投資的経費
(施設や道路などの建設のように形が将来
に残るものにかかる経費)
79万9,150円 (全体の16.2%)

その他の経費
89万2,011円 (全体の18.0%)

年間の収入をみると、親からの仕送りに頼っていることがわかります。また、銀行からの借り入れも毎年行っています。今後は、親からの仕送りや借り入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めるとともに、なるべく支出を抑えていくことが必要です。

年間の支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が約4割を占めています。これまで、食費や光熱水費・消耗品費などを切り詰めて家計をやりくりしてきましたが、今後もより一層の努力が必要です。